

We'll Find The Way ～はるかな道へ

教材研究

学習目標 思いをこめて明るい声で合唱しよう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 音色、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現 (1) 歌唱 ア, イ (ア), ウ (ア)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色、テクスチュア
用語や記号など：2分休符

指導と評価の計画の例（全2時間）

●学習内容 ・学習活動	●評価規準【評価方法】
<p>●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、歌詞の内容や曲想に関心をもち。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 範唱を聴き、曲の雰囲気や歌詞の内容について、気付いたり感じ取ったりしたことを述べ合う。・ 音のつながり方を意識しながら階名で歌う（階名唱が難しい場合は「ラ」で歌う）。・ 「作者からのメッセージ」を読み、この曲に込められた思いや、曲想を生かした歌い方について自由に意見を出し合う。・ 曲にふさわしい発声や呼吸を意識し歌詞で歌う。・ 拍の流れ（4分の4拍子）を、体を動かしたり指揮をしたりして感じ取る。・ 歌詞の内容と旋律との関わりを理解する。・ 範唱を聴き、後半の二部合唱になった際、響きや雰囲気がどのように変わったかについて意見を述べ合う。・ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解したことをワークシートにまとめる。	<p>●知曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。【観察、ワークシート】</p> <p>* 態は各時の取組を総括的に評価する。</p>
<p>●音色、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を</p>	<p>●思音色、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのよう</p>

創意工夫する。

- ・歌唱表現を工夫するポイントについて意見を発表し合い、実際に歌って試す。
- ・歌詞の内容や曲想を生かした発声，フレーズの捉え方，呼吸法などの歌い方を試して気付いたことを述べ合う。

●創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，休符の取り方，身体の使い方などの技能を身に付ける。

- ・教科書p.14「My Voice！」を参考に，姿勢や響かせ方を身に付ける。
- ・2分休符や他の休符について理解する。
- ・まとめの合唱を録音し，学級全体で聴いて振り返りを行い，ワークシートに記入する。

に歌うかについて思いや意図をもっている。【観察，ワークシート】

●**技**創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。【演奏】

●**態**曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関わりをもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。【観察，ワークシート】

その先へ

教材研究

学習目標 作者のメッセージを受け止め、思いをこめて合唱しよう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現 (1) 歌唱 ア, イ (ア), ウ (ア)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：旋律、強弱

用語や記号など：*D.S.*

指導と評価の計画の例（全2時間）

●学習内容 ・ 学習活動	●評価規準【評価方法】
<p>●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 範唱を聴いて、全体の構成を捉える。・ 歌ったり、歌詞を読んだりしながら情景や心情を想像し、感じたことを述べ合う。・ 気付いたこと、感じ取ったことをワークシートに記入する。・ 音高やリズムに気を付けながら、階名または「ラ」で歌う。・ 自分の歌声や呼吸法を意識して、歌詞で歌う。 <p>●歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫しながら歌う。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 歌いながら体を動かしたり指揮をしたりして、フレーズのまとまりや旋律の動きを感じ取る。・ フレーズの始めと終わりの発音や歌い方を工夫する。・ 言葉のまとまりを大切にしプレスに留意して歌う。・ 教科書p.97を参考に、<i>D.S.</i>を確認する。・ 教科書p.95を参考に、へ長調について確認する。・ どのように歌うかについて、自分の思いや意図をワークシートに記入する。	<p>●知曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。【観察、ワークシート】</p> <p>*態は各時の取組を総括的に評価する。</p>

●**フレーズ、旋律の動き、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想や歌詞の内容を生かして音楽表現を創意工夫する。**

- ・前時の学習内容を思い出し、曲想と歌詞の内容との関わりや、フレーズを意識して歌う。
- ・どのように歌うかについて、自分の考えや音楽表現を工夫するポイントを発表し、話し合う。
- ・話し合ったことを基に、曲想や歌詞の内容を生かした音楽表現を学級全体で追求する。
- ・前半と後半の曲想の変化を感じ取り、強弱や音色を工夫する。

●**創意工夫を生かした音楽表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方（呼吸法）などの技能を身に付ける。**

- ・発声や言葉の発音、身体の使い方（呼吸法）など、気付いたことを意見交流し、歌い方を工夫する。
- ・学習内容を振り返り、これまでの学習を生かして、学級全体で歌う。
- ・学習を通して、身に付いたと思う知識や技能、表現の工夫などをワークシートに記入する。

●**思**旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観察、ワークシート】

●**技**創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。【演奏】

●**態**曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。【観察、ワークシート】

主人は冷たい土の中に

教材研究

学習目標 曲の構成を感じ取って演奏しよう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

(1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(知識及び技能)

(2) 旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)

(3) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現 (1) 歌唱 ア, イ (ア), ウ (ア)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素： 旋律、強弱、形式、構成

用語や記号など： フレーズ、調、Andante、フェルマータ

指導と評価の計画の例 (全2時間)

●学習内容 ・ 学習活動	●評価規準【評価方法】
<p>●歌詞の内容や曲想に関心をもち。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 範唱を聴き、曲の雰囲気や歌詞の内容、曲想を生かした歌い方について気付いたことや感じ取ったことを述べ合う。・ 階名で歌う（階名唱が難しい場合は「ラ」で歌う）。・ ハ長調の音階を意識し、旋律の特徴（終止感、音高、跳躍など）を感じ取る。・ 伴奏に合わせて歌い録音し、終止感や跳躍の表現について気付いたことを話し合う。 <p>●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 二部形式について理解する。・ ハ長調の音階と終止感について理解する。・ 教科書p.19「深めよう！音楽」の設問①：各段の旋律の特徴や強弱の変化をワークシートに記入し、意見を共有する。・ 「深めよう！音楽」の設問②：①で感じ取ったことをグループに分かれてまとめ、教科書に記入する。	<p>●知 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。【観察、ワークシート】</p> <p>* 態 は各時の取組を総括的に評価する。</p>
<p>●旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したこ</p>	<p>●思 旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚した</p>

とと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。

- ・前時の学習内容を確認し、曲想を意識して歌う。
- ・どのように歌いたいかについてまとめ、意見交換する。

●**創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、休符の取り方、身体の使い方などの技能を身に付ける。**

- ・「深めよう！音楽」の設問③：グループでまとめたことを基に、特に3段目のフレーズの変化を意識して、表現を工夫しながら歌う。
- ・フェルマータの働きを知り、表現を工夫する。
- ・まとめの斉唱を録音し、学級全体で聴いて振り返りを行い、ワークシートに記入する。

とと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観察、ワークシート】

●**技**創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。【演奏】

●**態**曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。【観察、ワークシート】

My Melody

教材研究

学習目標 音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくろう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現 (3) 創作 ア, イ (ア), ウ

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：リズム、旋律
用語や記号など：和音

指導と評価の計画の例（全2時間）

●学習内容 ・ 学習活動	●評価規準【評価方法】
<p>●音のつながり方の特徴について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none">・「主人は冷たい土の中に」の冒頭2小節について、教科書p.21の「Warming up」を見て、音のつながり方の特徴について理解する。・音の高さに着目して、上行、下行、順次進行、跳躍進行などのつながり方があることを理解する。・上行と下行、順次進行と跳躍進行でそれぞれどのような感じがしたのか意見交流し、実際に音で確かめる。・音の長さに着目して、短い音と長い音のつながり方があることを理解する。・短い音でつながったときと長い音でつながったときで、それぞれどのような感じがしたのか意見交流し、実際に音で確かめる。 <p>●表したいイメージをもち、音のつながり方を生かして、創意工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none">・教科書p.17でつくったリズムを教科書p.23のワークシートのアに書き入れる。・I-IV-V-Iの和音の動きに合わせて、アのリズムを手拍子で打ち、つくる旋律の音の動きをイメージする。	<p>●知音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。【観察、ワークシート】</p> <p>●思リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。【観察、ワークシート】</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・音のつながり方を工夫しながら，1小節目と2小節目の旋律をつくり，ワークシートの「イ」に書き入れる。 ・音のつながり方を工夫しながら，3小節目と4小節目の旋律をつくり，ワークシートの「イ」に書き入れる。 ・旋律ができれば，工夫した点をワークシートの「ウ」に書き入れる。 	<p>*「態」は各時の取組を総括的に評価する。</p>
<p>●創意工夫を生かして，旋律をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時につくった旋律から一例を選んで発表し，学級全体で聴いて気付いた点について意見交流する。 ・グループに分かれて，つくった旋律を発表して聴き合い，旋律から伝わってきたイメージを伝え合う。 ・意見交流したことを参考に，表したいイメージに近づくように見直して，自分の旋律を完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「技」創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な，課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け，創作で表している。【ワークシート】 ●「態」音のつながり方の特徴に関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。【観察，ワークシート】

赤とんぼ

教材研究

学習目標 情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現 (1) 歌唱 ア, イ (ア), ウ (ア)

〔共通事項〕音楽を形づくっている要素：旋律、強弱

指導と評価の計画の例 (全2時間)

●学習内容 ・学習活動	●評価規準【評価方法】
<p>●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、歌詞の内容や曲想に関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none">・範唱を聴いて、曲の全体像を捉える。・音の跳躍に気を付けながら歌う。 <p>●旋律の動きや強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none">・「作詞者の言葉」や詩を朗読して言葉の意味を理解し、作詞者の思いや情景を想像する。・情景を思い浮かべながら歌う。・言葉の抑揚と旋律との結び付き、旋律の動きと強弱との関わりに注目し、気付いたことを発表して話し合う。・話し合ったことを基に、歌詞の内容や曲想を生かすための音楽表現を工夫しながら歌う。・工夫したことや練習が必要なこと、どのように歌うかについての自分の考えなどをワークシートに記入し、発表する。	<p>●知曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。【観察、ワークシート】</p> <p>●思旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観察、ワークシート】</p> <p>*態は各時の取組を総括的に評価する。</p>
<p>●創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方(呼吸法)などの技能を</p>	<p>●技創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付</p>

身に付ける。

- ・ 前時の学習内容を思い出し、歌詞の内容や曲想を意識して歌う。
- ・ どのように歌うかについての自分の考えや、特に音楽表現を工夫するポイントを発表し、話し合う。
- ・ 話し合ったことを基に、個人やペア、グループ、学級全体で歌い方を試す。
- ・ 音楽表現を工夫して分かったことや、歌うときに大切なポイントについてワークシートに記入し、発表する。
- ・ これまでの学習を生かして、学級全体で歌う。

け、歌唱で表している。【演奏】

- **態** 歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。【観察、ワークシート】

朝の風に

教材研究

学習目標 パートの役割を感じ取って合唱しよう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 主旋律と副旋律の役割やテクスチュアに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現 (1) 歌唱 ア, イ (ア), ウ (イ)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色、リズム、テクスチュア

指導と評価の計画の例 (全2時間)

●学習内容 ・学習活動	●評価規準【評価方法】
<p>●声部の役割や全体の響きに関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none">・範唱を聴きながら、声部の役割について確認する。・女声と男声のパートに分かれて、音を確認しながら歌う。・リズムや旋律について感じ取った特徴をワークシートに記入して発表する。 <p>●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none">・声部の役割を、教科書p.30の「深めよう！音楽」1に書き入れる。・旋律の特徴を生かして、1段目と2段目を中心に歌い方を工夫する。・旋律の重なり方に着目して3段目を歌う。・声部の役割、旋律の重なり方を生かして4～5段目を歌う。 <p>●声部の役割や全体の響きに関心を持ち、音楽表現を創意工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none">・声部の役割や全体の響きを意識して歌う。・どのように歌うかについての自分の考えや、特に音楽表現を工夫するポイントを発表し、話し合う。	<p>●知曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。【観察、ワークシート】</p> <p>●思音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観察、ワークシート】</p> <p>*態は各時の取組を総括的に評価する。</p>

●**創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。**

- ・前時に話し合ったことを基に、各パートで歌い方を試す。
- ・音楽表現を工夫して分かったことや、歌うときに大切なポイントについてワークシートに記入し、意見を交流する。
- ・これまでの学習を生かして、学級全体で歌う。

●**【技】**創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。【演奏】

●**【態】**主旋律と副旋律の役割やテクスチャに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。【観察、ワークシート】

君をのせて

教材研究

学習目標 曲想を生かして合唱しよう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 旋律や強弱の生み出す曲想の変化に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現 (1) 歌唱 ア, イ (ア), ウ (イ)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：旋律、テクスチャ、強弱

用語や記号など：調, *legato*, 3連符

指導と評価の計画の例 (全2時間)

●学習内容 ・ 学習活動	●評価規準【評価方法】
<ul style="list-style-type: none">●「君をのせて」に関心をもつ。<ul style="list-style-type: none">・映画「天空の城ラピュタ」のサウンドトラック「空から降ってきた少女」〈楽器演奏版〉を聴き、この音楽からどのような情景が浮かんだのかを述べ合う。・旋律に着目しながら再度聴き、旋律の雰囲気（感受したこと）と、そのように感じた理由（知覚したこと）をワークシートに記入する。●長調と短調の旋律の響きの違いと、音楽の醸し出す雰囲気の違いを理解する。<ul style="list-style-type: none">・指導者の弾くピアノに合わせて「君をのせて」の主旋律を「ラ」で歌い、曲の雰囲気の変化について感じ取ったことをワークシートに記入する。・指導者の弾くピアノに合わせて主旋律を階名で歌い、曲想の違いについて意見を述べ合う。●歌詞の内容と旋律や強弱との関わりを理解する。<ul style="list-style-type: none">・「君をのせて」を歌ったり、歌詞を群読したりして、歌詞と旋律との関わりについて気付いたことや感じ取ったことをワークシートに記入する。・グループで実際に声に出して歌いながら強弱の変化について考え、話し合う。・グループで考えたことを生かし、この曲にふさわしいと思う歌い方で主旋律を歌う。	<ul style="list-style-type: none">●<input type="checkbox"/>知 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。【観察, ワークシート】* <input type="checkbox"/>態 は各時の取組を総括的に評価する。

●主旋律のみの歌唱と混声三部合唱を聴き比べ声に出すことで、テクスチャについて理解する。また、旋律、テクスチャ、強弱等の音楽を形づくっている要素と歌詞の内容が生み出す雰囲気について理解する。

- ・楽譜を見ながら鑑賞し、女声だけのユニゾン、混声二部、全パートのユニゾン、混声三部、女声の主旋律と男声のオブリガートの組合せ等の様々なテクスチャが使われていることを理解する。
- ・「さあでかけよう」の部分からソプラノ、アルト、男声の3パートを主旋律を感じながら全員で歌う。

●全体の響きや各声部の声などを聴きながら表現を創意工夫する。

- ・主旋律以外の音取りをする。その際、同じパート内で他者の声を聴きながら声を合わせて歌う。
- ・どのように歌うかについて思いや意図をもった上で、全体の響きや各声部の声を感じながら合唱する。
- ・旋律、テクスチャ、強弱において、どのような表現の工夫をして歌ったのか、またそれはどのような思いや意図によるものかをワークシートに具体的に記入する。
- ・個人で記入したあと、各パートで意見を整理し、学級全体で共有する。

●創意工夫を生かして、「君をのせて」を歌う。

●**思**旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと、感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観察、ワークシート】

●**技**創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。【演奏】

●**態**旋律や強弱を生み出す曲想の変化に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。【観察、ワークシート】

Let's Search For Tomorrow

教材研究

学習目標 曲の構成や曲想の変化を生かして合唱しよう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現 (1) 歌唱 ア, イ (ア), ウ (イ)

〔共通事項〕音楽を形づくっている要素：速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成

用語や記号など：*a tempo*

指導と評価の計画の例 (全2時間)

●学習内容 ・学習活動	●評価規準【評価方法】
<p>●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none">・歌詞をグループに分かれて群読する。・楽譜を見ながら曲を聴き、主旋律を歌う。この曲が[A]～[E]の5つの部分で構成されていることを、音楽の流れと歌詞から捉える。 <p>●速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none">・[A]～[E]の各部分について、曲が進むにつれて速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成がどのように変化しているのか、歌詞を音読したり歌ったりして、音楽や歌詞から気付いたことをワークシートに記入し、グループで意見交流する。・音楽や歌詞から気付いたことを手掛かりにどのように歌いたいかを考え、ワークシートに記入し、グループで話し合う。	<p>●知曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。【観察、ワークシート】</p> <p>●思速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観察、ワークシート】</p> <p>*態は各時の取組を総括的に評価する。</p>
<p>●創意工夫を生かし、これまでに身に付けた知識や技</p>	<p>●技創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声など</p>

能を生かしながら、全体の響きや各声部の声などを聴き、他者と合わせて歌う技能を身に付ける。

- ・各パートに分かれて音を確認しながら歌う。
- ・部分ごとに全体練習を行う。曲の山の[C]と[E]について、自分たちで考えた表現の工夫を基に、充実した混声三部の響きで歌う。
- ・[A]の1段目のユニゾンから2段目の2声への変化に着目して、自分たちの表現を創意工夫する。
- ・[B]の「ぼくたちのすばらしい希望と夢を」と、[D]の「さあ すばらしい明日を探しに行こう」の表現の違いに着目して表現を工夫する。
- ・全体の響きに耳を傾け、他者と合わせながら、自分たちの考えた表現を生かして合唱する。
- ・合唱の様子を録画して視聴し、自分たちの表現について振り返り、ワークシートに記入して、学級全体で共有する。

を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。【演奏】

- [態]曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。【観察、ワークシート】

映画「ジョーズ」から“ジョーズのテーマ”

教材研究

学習目標 イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。(知識)
- (2) 音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

B鑑賞 (1) 鑑賞 ア (ア), イ (ア)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色、リズム、速度、旋律、強弱

指導と評価の計画の例 (全2時間)

●学習内容 ・学習活動	●評価規準【評価方法】
<p>●音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じる。</p> <ul style="list-style-type: none">・全曲を通して聴き、感じたことや思い浮かべたイメージを記入し、発表する。・どうしてそのように感じたのかをワークシートに記入し、発表する。	
<p>●曲想と音色、リズム、速度、旋律、強弱との関わりについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none">・モチーフの音の高さを変化させて聴き比べ、感じ方がどのように変わるかについて意見交流する。・モチーフのリズムを変化させて聴き比べ、感じ方がどのように変わるかについて意見交流する。・全曲を通して聴き、楽器の音色、リズム、速度、音の高低、強弱と曲の雰囲気との関わりを感じ取る。	<p>●知曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。【観察、ワークシート】</p> <p>*態は各時の取組を総括的に評価する。</p>
<p>●音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>●思音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。【観察、ワークシート】</p>

- ・これまでの学習を生かして、“ジョーズのテーマ”のよさや面白さなどを紹介する文章をワークシートに記入する。
- ・紹介文を発表し合い、音楽のよさや美しさについて学級全体で共有する。
- ・学習内容を振り返り、まとめの鑑賞をする。

- 態**音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
【観察，ワークシート】

Let's Create !

教材研究

学習目標 構成を工夫して、3つの場面の音楽をつくらう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復，変化，対照などの構成上の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解するとともに，創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な，課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 音色，テクスチャ，強弱，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，創作表現を創意工夫する。(思考力，判断力，表現力等)
- (3) 音素材の特徴を生かして構成を工夫することに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。(学びに向かう力，人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現 (3) 創作 ア，イ (イ)，ウ

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色，テクスチャ，強弱，構成

指導と評価の計画の例 (全2時間)

●学習内容 ・学習活動	●評価規準【評価方法】
<p>●音色，テクスチャ，強弱，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じる。</p> <ul style="list-style-type: none">・指導者が身近な音素材を使ってつくった「天気の良い屋下がり」と「林に降り注ぐ恵みの雨」の場面の音楽を聴き，どのような情景を思い浮かべたか，なぜそのように思ったのかを発表する。・音素材の違いを聴き取ったり，そこから生まれるイメージを感じ取ったりする。	<p>●知音素材の特徴及び音の重なり方や反復，変化，対照などの構成上の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解している。【観察，ワークシート】</p> <p>●思音色，テクスチャ，強弱，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。【観察，ワークシート】</p> <p>*態は各時の取組を総括的に評価する。</p>
<p>●音楽で表したい風景のイメージをもち，音素材の特徴を生かしながら，反復，変化，対照などを用いて，創作表現を創意工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none">・教科書p.40①の2つの風景からどちらかを選んで場面を設定し，ワークシートのア イに書き入れる。・グループで話し合っ音素材を選ぶ。・グループで話し合いながら強弱や構成を工夫して音楽をつくり，ワークシートのウに書き入れる。・音素材を選んだ理由や，構成を工夫した点などをワークシートのエに書き入れる。	<p>●技創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な，課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け，創作で表している。【ワークシート】</p>
<p>●表したいイメージをもち，創意工夫を生かして音楽をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none">・つくった音楽を発表し，聴き合う。・音楽から伝わってきたイメージを伝え合う。	

春 — 第1楽章 —

・意見交流したことを参考に、表したいイメージに近づくよう音楽を見直して、完成させる。

●**態**音素材の特徴を生かして構成を工夫することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。【観察、ワークシート】

教材研究

学習目標 音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。(知識)
- (2) 音色、旋律、テクスチャ、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

B鑑賞 (1) 鑑賞 ア (ア), イ (ア)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色、旋律、テクスチャ、強弱、形式

指導と評価の計画の例 (全2時間)

●学習内容 ・学習活動	●評価規準【評価方法】
<p>●曲に関心をもち。</p> <ul style="list-style-type: none">・鑑賞用CDを聴き、曲の雰囲気や楽器の響き、気付いたことや感じ取ったことを述べ合う。・楽器に着目して第1楽章を聴き、演奏されている楽器を確認して弦楽合奏の楽器について知る。・教科書や資料集等を参照して作曲者（名前、国、時代）について知る。 <p>●曲想と楽器の音色（弦楽合奏とチェンバロの響き）、旋律、形式（リトルネッロ形式）との関わりについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none">・合奏と独奏や重奏の部分とを聴き分ける。・鑑賞用CDを聴き、合奏と独奏や重奏の部分が交互に	<p>●知曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。【観察、ワークシート】</p> <p>*態は各時の取組を総括的に評価する。</p>

<p>現れる曲の構造を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソネットの内容について理解する。 ・ソネットを参考にして、情景を想像しながら聴き、「深めよう！音楽」の①(1)に取り組む。 	
<p>●楽器の音色（弦楽合奏とチェンバロの響き）、旋律、テクスチャ（音の重なり）、強弱、形式（リトルネット形式）を知覚・感受し、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A～Eの部分ごとに区切って聴き、旋律、調性の変化など、情景がどのように変化しているか、聴き取ったこと（知覚）と感じ取ったこと（感受）を「深めよう！音楽」の①(2)に記入する。 ・A～Eの部分ごとに分担を決め、グループに分かれて曲想（情景）と音楽の構造との関わりについて意見を出し合う。 ・グループの意見を整理してまとめ、A～Eの情景と曲想との関わりについて意見を共有する。 ・各グループの発表を参考に、曲想と音楽の構造との関わりについて意識して聴き、この曲に対する評価とその根拠について自分なりに考えたことをまとめる。 ・まとめたことを発表し合い、音楽のよさや美しさについて学級全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●思音色、旋律、テクスチャ、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。【観察、ワークシート】 ●態曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。【観察、ワークシート】

魔王

教材研究

学習目標 曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。(知識)
- (2) 音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

B鑑賞 (1) 鑑賞 ア (ア), イ (ア)

〔共通事項〕音楽を形づくっている要素：音色、旋律、テクスチャ、強弱
用語や記号など：調、

指導と評価の計画の例（全2時間）

●学習内容 ・学習活動	●評価規準【評価方法】
<p>●曲想と音楽の構造や詩の内容との関わりに関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none">・「魔王」の日本語詞を読み、自分が音楽を付けるとしたら、特にどの部分に着目して創作表現を工夫したいか、意見交流する。・作曲者がいちばん表現したかったことや工夫していることを通して、詩の内容と曲想との関わりについて考える。・「魔王」を鑑賞し、全体的な感想や特徴的な要素について意見交流する。 <p>●演奏を聴き、音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じる。</p> <ul style="list-style-type: none">・音色や音の高さなどに注目しながら、語り手と登場人物それぞれの部分がどのように表現されているのかを聞き取り、ワークシートに記入して意見交流する。・子がおびえている様子を作曲者がどのように表しているのかを理解し、それらの表現の特質から生まれる曲想の変化を感じ取り、ワークシートに記入して意見交流する。・捉えたことをグループや学級全体で共有する。 <p>●曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none">・捉えた特質や雰囲気が詩の内容とどのような関わりがあるのかを考えながら、改めて「魔王」を聴く。・作曲者がなぜそのような表現の工夫をしたのか考え、ワークシートに記入し、意見交流したり、発表したりする。・ピアノ伴奏に着目し、ピアノ伴奏が、詩の内容や登場人物	<p>●知曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。【観察、ワークシート】</p> <p>*態は各時の取組を総括的に評価する。</p>

<p>とどのように関わっているのかを考え、ワークシートに記入してグループで交流し、作曲者の意図した表現の工夫を探求する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで考えたことを学級全体で共有する。 	
<p>●音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚・感受しながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲を鑑賞し、前時の学習内容を振り返る。 ・音楽のよさや美しさを味わいながら曲全体を通して鑑賞する。 ・学習を通して、詩の内容を表現するために作曲者が行った表現の工夫について自分なりに考え、ワークシートにまとめ、曲に対する評価とその根拠について交流する。 <p>●旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心をもち、曲に込められた作曲者の思いを味わって聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲全体を聴き、曲想と音楽の構造との関わりを感じ取り、作曲者の音楽表現のよさや美しさについてワークシートにまとめる。 ・まとめたことや学習を通して考えたことを、グループや学級全体で交流する。 	<p>●思音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。【観察、ワークシート】</p> <p>●態旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。【観察、ワークシート】</p>

箏曲「六段の調」

教材研究

学習目標 日本に古くから伝わる箏の音楽を聴こう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。(知識)
- (2) 音色，速度，旋律，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したものと感受したこととの関わりについて考えとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え，音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力，判断力，表現力等)
- (3) 箏の奏法による音色の違いに関心を持ち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに，我が国の伝統音楽に親しむ。(学びに向かう力，人間性等)

学習指導要領の内容との関連

B鑑賞 (1) 鑑賞 ア (ア)，イ (ア)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色，速度，旋律，構成

用語や記号など：序破急

指導と評価の計画の例 (全1時間)

●学習内容 ・学習活動	●評価規準【評価方法】
<p>●曲に関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none">・「六段の調」を鑑賞し，全体を通して速度や曲想がどのように変化しているのか気付いたことを述べ合う。・右手と左手の奏法の違いや，左手を用いた奏法によって余韻の変化を付けられることに気付く。・作曲家や箏曲の楽譜について，教科書などを参照して知る。 <p>●曲想と音色 (引き色，後押し)，速度 (序破急)，旋律 (平調子)，構成 (段物) との関わりについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none">・「初段」の冒頭部分を聴き，「引き色」や「後押し」による音色の変化について，聴き取ったことや感じ取ったことをワークシートに記入する。・唱歌を歌い，音色や旋律の特徴について理解する。・曲想の変化に着目して全曲を通して聴く。・速度や旋律がどのように変化していくかについて意見を述べ合う。・曲想と速度や旋律との関わりについて，聴き取ったことや感じ取ったことをワークシートに記入する。	<p>●<input type="checkbox"/>知 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。【観察，ワークシート】</p>

●音色，速度，旋律，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したごとと感受したごととの関わりについて考えるととも，曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考える。

・音色，速度，旋律，構成に注目して「六段の調」を聴き，聴き取ったごとと感じ取ったごとをワークシートに記入し，学級全体で確認する。

●箏の奏法による音色の違いに関心を持ち，音楽のよさや美しさを味わって聴く。

・「六段の調」を全曲通して聴き，曲想と音楽の構造との関わりを根拠に，解釈したり価値を考えたりして，よさや美しさについて自分なりの考えをワークシートに記入する。

・評価した内容（自分なりの考え）を発表し合い，それぞれの内容について意見交換する。

●**思**音色，速度，旋律，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したごとと感受したごととの関わりについて考えるととも，曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

【観察，ワークシート】

●**態**箏の奏法による音色の違いに関心を持ち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。【観察，ワークシート】

日本の民謡

教材研究

学習目標 人々の暮らしの中から生まれた日本の民謡を聴こう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。(知識)
- (2) 音色、リズム、旋律、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したごとと感受したごととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 日本の民謡が生まれた背景や、節回し、コブシ、囃子詞などの歌い方の特徴、声や楽器の音色、音階などに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

B鑑賞 (1) 鑑賞 ア(イ)、イ(イ)

〔共通事項〕音楽を形づくっている要素：音色、リズム、旋律、形式

用語や記号など：拍、音階

指導と評価の計画の例（全2時間）

●学習内容 ・学習活動	●評価規準【評価方法】
<p>●日本の民謡に関心をもち。</p> <ul style="list-style-type: none">・「こきりこ」「ソーラン節」「刈干切唄」など小学校で既習の民謡や地域の民謡を聴きながら、まねて歌ったり囃子詞を掛けたりして、民謡の音楽的な特徴や雰囲気などについて、気付いたことや感じたことを自由に述べ合う。 <p>●音色、リズム、旋律、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したごとと感受したごととの関わりについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・「南部牛追唄」を聴き、声や楽器の音色、節回し、コブシ、曲の特徴をそれぞれワークシートに記入し、学級全体で意見交流する。・実際にまねて歌い、特徴を確認する。・拍のある音楽と拍のない音楽の違いに着目し、「南部牛追唄」と「谷茶前」を聴き比べる。・「伊勢音頭」と「谷茶前」を聴き比べ、共通点や相違点について聴き取ったことや感じ取ったことをワークシートに記入し、グループで発表し合う。・「南部牛追唄」「ソーラン節」「谷茶前」を聴き、音階について理解する。	<p>●思①音色、リズム、旋律、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したごとと感受したごととの関わりについて考えている。【観察、ワークシート】</p>

<p>●音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの民謡が生まれた背景と民謡の種類について知る。 ・それぞれの民謡が生まれた背景や特徴に着目して、「南部牛追唄」「伊勢音頭」「谷茶前」を総合的に鑑賞する。 	<p>●知音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。【観察，ワークシート】</p> <p>*態は各時の取組を総括的に評価する。</p>
<p>●音色，リズム，旋律，形式を知覚・感受しながら，生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え，音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「南部牛追唄」「伊勢音頭」「谷茶前」を聴き，前時の学習内容を振り返る。 ・3つのグループに分かれて担当する民謡を聴き，曲想と音楽の構造や，音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち，生活や社会における音楽の意味や役割を考えたりして，音楽のよさや美しさについての自分なりの考えをワークシートに記入する。 ・グループで自分の意見を発表し合い，再度曲を聴きながら互いの意見を確認する。 ・グループの意見をまとめ，曲の特徴や魅力と音楽を形づくっている要素との関わりや，音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて発表し，学級全体で共有する。 ・日本の民謡のよさや美しさについて，節回し，リズム，音階，コブシ，囃子詞などに触れながら，生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考えたことをワークシートにまとめ，学級全体で意見交流する。 	<p>●思②生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。【観察，ワークシート】</p> <p>●態日本の民謡が生まれた背景や，節回し，コブシ，囃子詞などの歌い方の特徴，声や楽器の音色，音階などに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。【観察，ワークシート】</p>

ソーラン節

教材研究

学習目標 声や音楽の特徴を生かして日本の民謡を歌おう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 「ソーラン節」の声の音色、節回し、コブシ、囃子詞の特徴や生まれた背景について関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、我が国で歌い継がれている民謡に親しむ。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現 (1) 歌唱 ア, イ (イ), ウ (ア)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色、旋律、テクスチャ

指導と評価の計画の例（全2時間）

●学習内容 ・学習活動	●評価規準【評価方法】
<p>●曲が生まれた背景や、声の音色、節回し、コブシ、囃子詞の特徴に関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none">・模範演奏を聴き、曲について知っていることを自由に述べ合う。・囃子詞を聴き取り、模範演奏に合わせて歌う。・声の音色、節回し、コブシ、囃子詞の特徴について知覚したことをワークシートに記入し、学級全体で意見交流する。	
<p>●声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none">・模範演奏をまねながら歌ったり、指導用CDを聴いたりして、声の音色や節回しの特徴などについて知覚・感受したことを、各自ワークシートに記入し、グループで意見交流する。・教科書p.61の「演奏者からのアドバイス」を参考にしながら、グループでいろいろな歌い方を試す。・グループで試した歌い方を発表し合い、発声の違いなどについて学級全体で共有する。・コブシや囃子詞を入れずに歌い、雰囲気の違いや演奏効果について理解する。	<p>●知声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。【観察、ワークシート】</p> <p>*態は各時の取組を総括的に評価する。</p>
<p>●音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱</p>	<p>●思音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚し</p>

表現を創意工夫する。

- ・前時の学習を振り返りながら、グループごとに歌う。
- ・声の音色、コブシの付け方、囃子詞の掛け方について、各自ワークシートの絵譜に記入し、グループで意見交流する。
- ・グループで歌い試しながら、音楽表現について共有する。
- ・様々な歌唱表現を試し、歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。

●創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。

- ・歌唱表現の創意工夫を再確認するとともに、考えが変わったり、より具体的になったりしたところがある場合は、ワークシートの絵譜に加筆する。
- ・民謡の表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などを個人やグループで追求する。
- ・グループ内で一人一人発表したりグループどうして発表し合ったりして、互いの演奏に対して意見を述べ合う。

●題材のまとめと振り返りを行う。

- ・曲のよさや面白さについて、節回しやコブシなどに触れながら、学んだことをワークシートにまとめ、意見交流する。

たことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもっている。

【観察、ワークシート】

- 技**創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。【演奏】

- 態**「ソーラン節」の声の音色、節回し、コブシ、囃子詞の特徴や生まれた背景について関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、我が国で歌い継がれている民謡に親しもうとしている。【観察、ワークシート】

アジアの諸民族の音楽

教材研究

学習目標 アジア各地の音楽を聴こう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) アジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。(知識)
- (2) 音色，リズム，速度，旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え，音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力，判断力，表現力等)
- (3) アジア地域の諸民族の音楽の特徴と，その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。(学びに向かう力，人間性等)

学習指導要領の内容との関連

B鑑賞 (1) 鑑賞 ア (ウ)，イ (ウ)

〔共通事項〕音楽を形づくっている要素：音色，リズム，速度，旋律
用語や記号など：拍，音階

指導と評価の計画の例（全2時間）

●学習内容 ・学習活動	●評価規準【評価方法】
<ul style="list-style-type: none">●アジア地域の諸民族の音楽に関心をもつ。<ul style="list-style-type: none">・地図でアジアの国々の位置を確認し，「アジア」から連想する言葉や音楽に関する用語などを出し合う。・鑑賞用CDを聴いて，その印象や感じたことを自由に話し合う。●音色，リズム，速度，旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。<ul style="list-style-type: none">・音色や旋律に注目してドゥドゥックと箏を聴き比べ，聴き取ったことや感じ取ったこと，共通点や相違点をワークシートに書く。・リズムに注目してオルティンドーと「南部牛追唄」を聴き比べ，聴き取ったことや感じ取ったこと，共通点や相違点をワークシートに書く。・音色や旋律に注目してカヤグムと日本の箏を聴き比べ，聴き取ったことや感じ取ったこと，共通点や相違点をワークシートに書く。・音楽の背景となる文化や歴史などとの関わりを知り，なぜこのような音楽が生まれたのかを考え，自分の意見を発表し合う。	<ul style="list-style-type: none">●思①音色，リズム，速度，旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。【観察，ワークシート】

<p>● アジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改めて曲を比較鑑賞し、聴き取ったことや感じ取ったことをワークシートに書き加える。また、音楽の多様性についても考え、ワークシートに書く。 ・自分の意見を発表し合い、再度音楽を聴きながら互いの意見を確認する。 	<p>● 知 アジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。【観察、ワークシート】</p> <p>* 態 は各時の取組を総括的に評価する。</p>
<p>● 音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習の振り返りをする。 ・特に気に入った曲を1曲選び、その曲のよさや美しさについて自分なりの考えをワークシートに書く。 ・評価した内容（自分なりの考え）を発表し合い、それぞれの内容について意見交換する。 ・曲を味わって聴き、アジアの様々な音楽の多様性を認め大切にする態度を養う。 	<p>● 思② 音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。【観察、ワークシート】</p> <p>● 態 アジア地域の諸民族の音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。【観察、ワークシート】</p>

学習指導案例（浜辺の歌）

1. 題材名

情景を思い浮かべながら、表現を創意工夫して歌おう（歌唱）

本事例は、共通教材の「浜辺の歌」を教材とした歌唱の題材である。学習指導要領の内容は、「A表現」（1）歌唱の事項ア、イ（ア）、ウ（ア）、〔共通事項〕（1）アの音楽を形づくっている要素のうち、リズム、旋律、強弱、形式、〔共通事項〕（1）イの用語や記号などのうち、拍子、フレーズを扱う。

2. 学習指導要領の指導事項

ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。

イ（ア）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解すること。

ウ（ア）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けること。

3. 題材の目標

- （1）「浜辺の歌」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で「浜辺の歌」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。（知識及び技能）
- （2）「浜辺の歌」のリズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「浜辺の歌」の歌唱表現を創意工夫する。（思考力、判断力、表現力等）
- （3）「浜辺の歌」の歌詞の情景や曲想に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のよさを味わう。（学びに向かう力、人間性等）

4. 教材について

「浜辺の歌」 林 古溪 作詞／成田為三 作曲

作詞は東京生まれの林 古溪（1875～1947）で、大正2（1913）年に発表している。林は少年時代に神奈川県藤沢市の辻堂で過ごしたことから、辻堂海岸が原風景ではないかと考えられている。作曲は秋田生まれの成田為三（1893～1945）で、大正5（1916）年頃に作曲したといわれている。「浜辺の歌」として正式に出版されたのは大正7（1918）年である。「浜辺の歌」は、昭和22年に文部省が編纂した「中等音楽」に掲載され、昭和52年には、中学校学習指導要領で共通教材として示された。現行の中学校学習指導要領（平成29年告示）にも共通教材として示されている。

詩は文語体ではあるが、その風景を思い浮かべやすい。曲はA（a a'）B（b a'）の二部形式で、4小節で一まとまりとなるフレーズを感じ取りやすい。8分の6拍子の流れにのって浜辺に打ち寄せる波の様子を音楽の構造として捉えることもできる。音楽を形づくっている要素のうち、リズム、旋律、強弱、形式を知覚・感受し、歌唱表現を創意工夫する中で、発声や言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる教材である。小学校で学んできた「ふるさと」や「われは海の子」などの共通教材に続き、中学校で初めて学ぶ共通教材として「浜辺の歌」を取り上げ、我が国で長く歌われ親しまれている歌曲の

よさを味わわせたいと考えた。

5. 題材の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
題材の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 「浜辺の歌」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(知識) 創意工夫を生かした表現で「浜辺の歌」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。(技能) 	<p>「浜辺の歌」のリズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「浜辺の歌」をどのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>「浜辺の歌」の歌詞の情景や曲想に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
1時	○(知識) 〈観察、ワークシート〉		↓
2時	○(技能) 〈演奏(歌唱)〉	○ 〈観察、ワークシート〉	○ 〈観察、ワークシート〉

6. 指導と評価の計画(全2時間)

※評価規準は省略 ※評価方法は右(奇数)ページに◎で示す

時	◆ねらい ●学習内容 ・学習活動	○指導上の留意点
1	<p>◆「浜辺の歌」の歌詞の情景や曲想に関心をもち、リズム、旋律、強弱、形式などの特徴を捉え、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解する。</p> <p>●本題材の見通しをもつ。 ・小学校で学んだ「ふるさと」や「われは海の子」を思い出して歌う。</p> <p>・本題材では、我が国で長く歌われ親しまれている「浜辺の歌」を歌い、歌唱表現を創意工夫することを知る。</p> <p>●「浜辺の歌」の歌詞の情景や曲想に関心をもち。 ・「浜辺の歌」のCDを聴き、全体的な印象な</p>	<p>○「ふるさと」や「われは海の子」を歌って想起させ、いずれの曲も我が国で長く歌われ親しまれている曲であることを確認する。</p> <p>○中学校でも我が国で長く歌われ親しまれている歌曲(共通教材)を学ぶことを伝える。本題材では「浜辺の歌」を取り上げ、2時間抜いで学ぶことを確認する。</p> <p>○「浜辺の歌」の第一印象について自由に発</p>

<p>どを自由に発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作詞者，作曲者を知る。 ・ 「浜辺の歌」を歌えるようにする。 ・ 「浜辺の歌」の全体的な雰囲気について感じたことをワークシート（1）に書く。 <p>● 「浜辺の歌」の歌詞の内容や音楽の構造の特徴を捉え，曲想との関わりについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「浜辺の歌」の音楽の特徴（リズム，旋律，強弱，形式）を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気について感受したことをワークシート（2）に書く。 ・ 歌詞から想像した情景や，詩のリズムなどの特徴をワークシート（2）に書く。 ・ ワークシート（2）に書いたことを発表し合い，他者の意見を参考にし，必要に応じてワークシート（2）に書き加える。 ・ 知覚したことと感受したこととの関わりや，歌詞の内容との関わりについて，適宜，関係する記入内容を線で結ぶ。 <p>● 歌詞の情景を想像したり，音楽の構造を意識したりしながら歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを意識しながら，「浜辺の歌」を学級全体で歌う。 	<p>表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作詞者，作曲者に関わることや，この曲が誕生した時代背景について説明する。 ○ 旋律をフレーズ単位で範唱し，それに続いて歌うよう促す。 ○ 実際に歌って感じたことも含めて記入させる。 <p>○ 歌の旋律のみを取り出した4段譜（4つのフレーズ）を提示し，旋律や形式に注目させる。リズムには拍子も含まれることを確認する。</p> <p>○ 教科書p.24，25の縦書きの詩を音読させ，情景を想像させたり，詩そのものもっているリズムに注目するよう促す。</p> <p>○ 音楽の特徴や歌詞の特徴について，生徒の発表内容を電子黒板に示し，それらのポイントを整理する。</p> <p>○ 線の結び方について，事例を示しながらその方法を紹介する。</p> <p>○ ワークシートに書いた内容や，電子黒板に書かれた内容を確認した上で，それらを意識しながら歌うよう促す。</p>
<p>2</p> <p>◆ 「浜辺の歌」をどのように歌うかについて思いや意図をもち，創意工夫を生かして歌う。</p> <p>● 「浜辺の歌」の曲想や歌詞の内容を味わい，音楽の構造との関わりを踏まえて，音楽表現を追求する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に知覚したことと感受したこととの関わりについて振り返りながら，「浜辺の歌」を歌う。 ・ 「浜辺の歌」をどのように歌いたいかについて思いや意図をもち，ワークシート（3）（4）に書く。 	<p>○ 前時のワークシート（1）（2）に記入したことを確認した上で歌うよう促す。</p> <p>○ ワークシート（3）に，全体的にどのような雰囲気で歌いたいかについて最初に記し，続いて（4）には各フレーズをどのように歌いたいかについて思いや意図を具体的に記</p>

- ・4人グループで意見交換し、グループとして、特に表現を創意工夫したいフレーズを選び、どのように歌いたいかなどについてワークシート(5)に書く。

●グループごとに「浜辺の歌」を思いや意図をもって歌う。

- ・グループごとに追求した表現を発表する。
- ・他のグループの発表を聴いて気付いたことをワークシート(6)に書く。

●題材における学習を振り返る。

- ・我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のよさについてまとめる。
- ・題材を通して学んだことを、ワークシート(7)に書く。
- ・「浜辺の歌」のよさを味わいながら、学級全体で歌う。

すよう促す。

- 4人グループとなり、特に表現を創意工夫したいフレーズについて意見交換させる。

- 思いや意図を表すために、発声、言葉の発音、身体の使い方(呼吸法)などをどのように工夫したらよいか、グループで意見交換したり、実際に歌い試したりしながら追求するよう促す。

- 取り上げたフレーズについて、口頭で説明してから発表するよう促す。

- 自分たちのグループでの追求では気付かなかった点に目を向けるよう促す。

- 我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のよさとは何かについて問い、「浜辺の歌」の魅力についてまとめる。

- ワークシートの(1)から(6)までを振り返らせ、本題材を通して学んできたことを、ワークシート(7)に記入させる。

- 我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のよさを味わいながら歌うよう促す。

学習指導案例（雅楽「平調 越天楽」）

1. 題材名

日本に古くから伝わる合奏を聴こう（鑑賞）

本事例は、雅楽「平調 越天楽」を教材とした鑑賞の題材である。学習指導要領の内容は、「B鑑賞」（1）鑑賞の事項ア（ア）、イ（イ）、〔共通事項〕（1）アの音楽を形づくっている要素のうち、音色、旋律、テクスチャ、〔共通事項〕（1）イの用語や記号のうち、拍、間を扱う。

2. 学習指導要領の指導事項

ア（ア）曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。

イ（イ）音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解すること。

3. 題材の目標

- (1) 雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。（知識）
- (2) 雅楽「平調 越天楽」の音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、雅楽「平調 越天楽」のよさや美しさを味わって聴く。（思考力、判断力、表現力等）
- (3) 雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等）

4. 教材について

雅楽「平調 越天楽」 作曲者不詳

雅楽といえば「越天楽」（「越殿楽」とも書く）といわれるほど、雅楽の中で最もよく知られた曲である。しかしその作者についてははっきりしておらず、唐から伝わったという説もあるが、のちに日本で作曲されたともいわれており定かではない。現在では管絃の曲として演奏されているが、古くは舞が付いていたとも伝えられている。この曲には、鑑賞で取り上げている平調の他、盤渉調、黄鐘調のものがある。

小学校6年生の共通教材「越天楽今様」は、「平調 越天楽」の旋律に今様の歌詞を付けたものである。延年などの寺院芸能では、平安時代中頃から雅楽の曲に歌詞を付けて歌われるようになり、その際最も多く用いられたのが「越天楽」の旋律であった。

宮内庁式部職楽部（通称、宮内庁楽部）は、宮中の儀式や饗宴、園遊会などの行事で演奏を担当する楽人の団体である。数多くの雅楽伝承曲を整理し、そのレパートリーを選定した「明治選定譜」（明治21年完成）に基づき、現在まで雅楽の伝承を行っている。また明治時代以後は、宮中晩餐会などの際に洋楽も演奏する。

本曲を教材として用いることで、雅楽の特徴と管絃の生まれた背景となる文化や歴史を知り、我が国の伝統芸能に対する理解を深めるとともに、それらを尊重する態度を養うことができる。

また、管絃で用いられる楽器の音色やその役割、音の重なり方などから、管絃の特徴を感じ取ることができる。

さらに^{しょうが}箏の唱歌を歌う活動を通して、^ま箏の旋律の特徴や日本の伝統音楽における唱歌の役割を感じ取るとともに、雅楽における拍や間を実感することができる。

5. 題材の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
題材の評価規準	雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。	雅楽「平調 越天楽」の音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、雅楽「平調 越天楽」のよさや美しさを味わって聴いている。	雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
1時	○ 〈観察, ワークシート〉	○ 〈ワークシート〉	↓
2時		○ 〈観察, ワークシート〉	○ 〈観察〉

6. 指導と評価の計画（全2時間）

※評価規準は省略 ※評価方法は右（奇数）ページに◎で示す

時	◆ねらい ●学習内容 ・学習活動	○指導上の留意点
1	<p>◆雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。</p> <p>●本題材の見通しをもち、曲に関心をもつ。 ・教科書p.52のアの部分を聴き、知っていることを述べ合う。</p>	<p>○曲名だけでは気付かないかもしれないが、この曲の旋律を生活の中で耳にしたことのある生徒は多いはずである。どのような場所でどのようなときに聴いたかを互いに述べ合い、曲に対する関心を高めることができるように</p>

・本題材では、雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりを理解しながら、曲のよさや美しさについて自分なりの考えをもつ学習を行うことを知る。

●雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。

・教科書p.52「雅楽」、p.55「平安時代の貴族と雅楽」を読み、雅楽について知る。(→ワークシート設問1)

・雅楽「平調 越天楽」に用いられる楽器を確認する。(→ワークシート設問2)

・アの部分を聴き、音色や旋律、音の重なり方などの特徴について気付いたことや感じたことをまとめ、グループで話し合う。(→ワークシート設問3)

・全曲を通して聴き、アの部分についてまとめたことを参考に、曲のよさや美しさについて自分の考えをまとめる。(→ワークシート設問4)

する。

○生徒の大半が耳にしたことのあるこの曲の特徴と文化や歴史との関わりについて理解し、どのようなよさや美しさがあるかについて自分なりの考えをもつ学習に取り組むことを伝える。

○雅楽やその背景となる歴史や文化を理解できるようにする。

○平安時代の貴族の服装などを紹介し、当時の貴族の生活への理解を深める。

○楽器については、教科書p.53下のイラストやp.54「管絃で使われる楽器とその役割」を参考にする。視聴覚教材も効果的に用いるとよい。

○発音原理や形状などが似ている楽器どうしを比較するなどして関心を高める。

○聴くときにどのような点に注目したらよいかをワークシートの設問に明記し、生徒が整理して記入できるようにするとよい。

○可能であれば映像を視聴し、舞台や楽器の配色にも触れるなどして、関心を高めることができるようにする。

○教科書p.52, 53を参考にしながら聴き、楽器の音色や音の重なり方、旋律の特質や雰囲気を感じ取ることができるようにする。

○生徒の発表内容にコメントしたり質問したりして、より深い理解を促す。

○全曲を通して聴き、楽器の音色、旋律、音の重なり方を味わうことができるようにする。

2

◆雅楽「平調 越天楽」の音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、雅楽「平調 越天楽」のよさや美しさを味わって聴く。

<ul style="list-style-type: none"> ●前時の復習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・アの部分を聴く。 ●曲の拍と間について、体験を通して理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.55「『越天楽』の唱歌を歌おう」に取り組み、拍を体験する。 ・唱歌を歌い、曲中の間を体験する。 ・鑑賞用の音源に合わせて唱歌を歌う。 ●全曲を通して聴き、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、雅楽「平調 越天楽」のよさや美しさを味わって聴く。 <ul style="list-style-type: none"> ・雅楽「平調 越天楽」を通して聴き、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えたことをまとめる。（→ワークシート設問5） ・自分の考えを発表し合い、曲のよさや美しさについて学級全体で共有する。 ・他者の意見も取り入れ、曲のよさや美しさについて自分の考えをまとめ、完成させる。（→ワークシート設問5） 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時のワークシートを参考にしながら確認する。 ○授業支援DVDも活用し、緩やかな速度の中にも拍があることを、唱歌を通して実感できるようにする。 ○教科書p.63「日本音楽に関する言葉」の間も参考にしながら、体験を通して実感できるようにする。 ○実際の演奏に合わせて取り組む。 ○今後学習する我が国の伝統音楽でも間を扱うため、しっかり確認できるようにする。 ○ここでいう「評価」とは、曲や演奏のよさや美しさなどについて自ら考え、その価値を判断することである。「その根拠」には、雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりといった知識に関する内容（理解したことや捉えた特徴など）が含まれていることが大切である。
---	---